JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.271)

1. 総合防災訓練を実施しました

9月17日(木)、処理棟1階のコンデンサ解体エリアで火災が発生したという想定で、総合防災訓練を行いました。今回は、資機材からの出火を想定し、自動火災報知設備の火災放送を受けて、事業所内の全員が避難を開始しました。

避難場所となる2階正面玄関前ピロティでは、各部署の責任者が人員点呼を行い、全員の無事を確認しました。

その後、豊田市消防本部予防課の皆さまにご指導いただきながら、屋外消火栓を使った放水訓練を実施しました。



対策本部長への人員点呼報告



屋外消火栓からの放水訓練

続いて行った水消火器を使用した初期消火訓練では、火災時の基本行動である「周囲に知らせる。」「初期消火を行う。」「危険を感じたら逃げる。」という“火災対応の3原則”を確認しながら進めました。参加者は「火事だ!」と大きな声で周囲に知らせてから消火器を操作するまでの一連の流れを体験し、いざという時の初動対応を改めて確認しました。

消防本部の方からは、「避難・整列・人員点呼が速やかに実施され、放水訓練や初期消火訓練についても毎年継続してきた訓練の成果が表れている。」との講評をいただきました。

訓練後の反省会では、消防本部の方から「避難時には、負傷者の発生も想定し、AEDと救急箱を準備しておくとよい。」とのアドバイスがありました。

今回の訓練で確認した内容や改善点を、これからの防災活動にしっかりと生かし、緊急時に一人ひとりが確実に行動できる体制づくりを進めてまいります。



水消火器による初期消火訓練

2. 産業医による健康講話について



当事業所では、社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的に実施しており、本年度第2回目を9月29日（火）に「休養について」をテーマに開催しました。

講話では、約8割の方が疲労を抱えて生活していることをはじめ、疲労度チェック、睡眠と労働時間の関係、新しい休養のあり方、活力を高める7タイプの休養（休息、運動、栄養、親交、娯楽、造形・想像、転換）などを学び、最後に、肩こり、頭痛、腰痛などに効くストレッチを参加者全員で行いました。

3. 交通安全街頭活動に参加しました



9月25日（金）に、地域で一番交通事故が多い朝の通勤時間帯に、豊田市「秋の交通安全市民運動」に参加しました。

市民や事業者の交通安全意識の向上のため、当事業所と運転会社の社員が交通安全の横断幕やのぼりを立て、『Stop横断歩道歩行者発見！』『ゆっくり停止・発進』などのハンドプレートを掲げて、通行するドライバーに安全運転を呼びかけました。

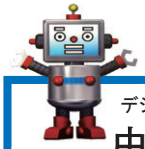
4. JESCO Report 2026（旧 環境報告書）を発行しました

JESCO Report 2026

JESCOでは、昨年度の事業活動に係る環境配慮等の状況をとりまとめた環境報告書改め「JESCO Report 2026」を9月24日に公表しました。

環境報告書としての役割を継承しつつ、環境・社会・ガバナンス（ESG）への取組や事業活動全体をより適切に表す「JESCO Report 」へと名称変更しました。当社の基本理念や行動指針、循環型社会形成への取組をはじめ、新たなフェイズに入っているPCB処理事業、中間貯蔵事業、そして新たに始まる災害廃棄物処理支援事業の取組を掲載しています。本レポートでは、P6～P19でPCB処理事業のこれまでの歩みや処理実績を振り返るとともに、処理施設の安全な解体撤去に向けた取組、モニタリング実績等を紹介しています。詳しくは、右のQRコード、または以下のURLからご覧ください。

https://www.jesconet.co.jp/company/environment/envirorep.html#anchor01


デジ丸

問合せ先


アザラシのぴーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）
豊田ＰＣＢ処理事業所　電話：0565－25－3110　FAX：0565－24－0543
【豊田PCB処理事業HP】 https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html